

# ストーンベニアタイルの施工方法

## 施工の注意点

### ■養生

- 常温に保たれた室内（10℃以上）の平滑な場所で、なじませてから施工してください。
- 1～2日程度平積みし、乾燥した平坦な場所に保管クセを取り除いてください。
- クセが取れない場合は、ホットガン等で温めてクセをなくしてから施工してください。

### ■下地、割り付けの確認

- 施工前に下地の上に汚れ、ホコリ、油分がないようによく清掃してください。
- 仕上げ材の裏面もきれいなウエス等で、きれいにしてください。
- 下地に不陸やヒビがある場合、下地処理をしてから施工してください。
- 施工可能な下地:モルタル下地、セラミック、木材、石膏ボード、金属、合板、サイディング等様々な下地に貼付けることが可能です。

### ■施工前に

- 吸水性があるベニア下地と石膏ボードには、施工前に「アド・下地プライマーA」をご使用ください。(品番:KBA-105144)
- 天然石のため、色調にバラツキがあります。施工の前に一度仮並べをして、色調がうまく調和するように良く混ぜ合わせてご使用ください。

### ■施工について

- くし目ゴテを用いて、しっかりクシ目を立てて、裏面と下地の接着剤がしっかり接着するように改良圧着で施工してください。空洞にならないように、あて木で軽く叩き下地と密着させてください。
- 万能はさみ・ウッドソー・カーバイトの備えたテーブルソー・ダイヤモンドソー・サンダー等で切断可能です。切断後、切り口を軽くサンドペーパーで処理してください。

## 施工手順

### ① 養生

- 施工前には常温（10～25℃）に保たれた室内の平滑な場所で積み重ね、クセを取り除いてください。

### ② 下地、レイアウト

- 施工前に下地面に付着している汚れ（ホコリ、油分等）の清掃をしてください。不陸がある場合は下地調整をし平滑にしてください。また、ストーンベニアタイルの裏面に付着している汚れを除去してください。
- 施工現場を実測し割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。

### ③ 接着

- ①くし目ゴテを用いて均一にクシ目を立て、接着剤を塗布します。

※接着剤のオープンタイムに注意し、必要分だけ接着剤を塗布するようにしてください。

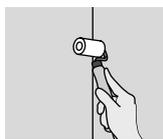
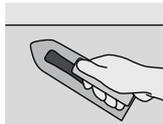
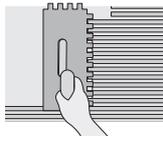
なお、接着剤はエポキシ樹脂系接着剤を使用してください。

- ②目地なし工法で施工する場合は、接着剤を塗布した後、平ゴテでタイルを下地に押し付けるようにして、表面を均一にしてください。

※接着剤がはみ出した場合は、よく拭き取ってください。

- ③ハンドローラーやビブラートを使用するか、あて木を当て表面を軽く叩き、下地にしっかりと密着させてください。しっかりと密着させることで、目違いになりにくくなります。

※下地状況が良くない場合、不陸の段差が目違いになりますので施工に適した下地処理をしっかりと行ってください。



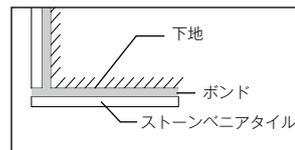
### ④ 目地仕上げ（各メーカーの取扱説明書に従ってください）

- ①弾性目地材をご使用ください。

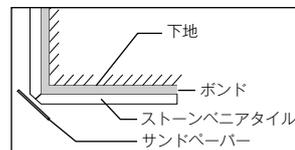
- ②目地施工の際は、必ずマスキングテープをご使用してください。目地幅を設けることで目違いによる段差は多少軽減できます。

### ⑤ 出隅加工

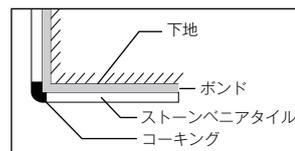
- 下記図を参考にし、現場に合わせた最適な工法を採用してください。



正面がちで仕上げる工法



突きつけて貼り合わせ、角をサンドペーパーで軽く削る工法  
※削った部分が、白くなる場合があります。



コーキングで仕上げる工法

※接着材はこちらをご使用ください。

#### ストーンベニアタイル

内外装壁タイル用  
タイルエース F (変成シリコン樹脂)  
KBA-RE217



#### ストーンベニアシート

弾性速乾型  
エスジーイチエル (変成シリコン樹脂)  
KBA-SG1L

